

# 137 万画素バリフォーカル暗視カメラ



Ver.1602

目次
.安全のための注意 ----------------------
/ 免責事項
2. 付属品 -----------------------------------
8.各部名称 ------------------------------------
. 設置操作 -------------------------- 6-8
5.設定画面 ------------------------------------
5-1 レンズ 10
5-2 露出補正
5-3 逆光補正 --------------------- 11
5-4 ホワイトバランス ---------------- 11
5-5 デイ&ナイト機能 --------------- 12
5-6 NR 12
5-7 スペシャル機能 13-14
5-8 調整 ------------------- 15
5-9 初期化 ------------------- 15
5-10 戻る ------------------ 15

# 1. 安全のための注意

ご使用の前に、この『安全上のご注意』をよくお読みの上、正しくお使い下さい。 ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使い頂き、使用する方への危害や損害を未然に 防止する為のものです。安全に関する重大な内容なので、必ず守ってください。

■正規の電源を使用してください。指定された電圧を越えるもの (DC12V) を供給する電源に

この製品を接続すると製品に損傷を与えます。

■カメラ本体に金属などの異物を差し込むと感電する場合や火災になる危険があります。

■濡れたままで、または埃をかぶった状態で使用しないでください。

製品は清潔で、乾燥している場所でお使いください。また濡れた手で本製品を扱うと感電する 危険があります。

■本製品の外部のケースを清掃するには、軽く湿らせられた布を使用してください。溶剤は厳禁です。

■製品が作動しない場合は故障も考えられます。異常な音やにおい又は煙の出る場合は

直ちにコンセントからプラグを抜いて販売店にご連絡してください。

■分解・改造などは故障の原因となり、また保証対象外となります。

■製品は精密機械なので、強く落下したり、ぶつけたりして破損しないよう注意深く扱ってください。

■万一、通常の使い方で故障した場合は、直ちに使用を中止し、修理または交換のため販売店にご連絡ください。

■カメラは、埃の多いところ、高温多湿のところ、直接太陽光などの強い光が入るところでの使用は 避けてください。

■ VP 多重電源機器とは接続できません。接続した場合内部回路が破損するおそれがあります。

■本製品を設置する時以外は、フロントカバーを開けないでください。

また設置時にフロントカバーを開ける場合は雨の日など湿度の高い日を避け、

できるだけ短期間に作業を完了させてください。

※フロントカバーを開けた時に製品内部に湿気が入り、結露現象(レンズの内側に曇りが発生) が起こる原因になります。

# 2. 免責事項

■本製品で録画した映像は、個人として利用するほかは、著作権法上権利者に無断で利用できませんのでご注意ください。

■雷、津波、地震、その他自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、 お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により故障および 損傷が生じた場合、または弊社または弊社が許可した者以外が分解や改造した場合、 または腐食や錆などによる外観の劣化の場合、原則として有償での修理とさせて いただきます。

■本製品の保証は、本書記載の内容をお守り頂かなかった場合、適用対象になりません。 弊社では機器の故障、不具合、トラブルに対しての出張対応は行いません。 修理、設定、などについてはセンドバック方式にて対応させていただきます。

# 2. 付属品

ーカメラ本体 ー取扱説明書(本書) ー L レンチ 2.5mm
 ー AC アダプタ ー DC12V/1A ー点検用プラグ ーカメラフード・固定ネジ
 一固定用ネジ

- 取扱説明書(本書)

- ACアダプタ DC12V/1A



※付属 AC アダプタのケーブル長は約 1.8m です。
カメラ近くに AC100V コンセントがない場合は、
本 AC アダプタの DC プラグをΦ 0.9mm 以上の 2 芯電源線
(OP0.9 × 2 芯など) で延長してください。
※オプション品= OPC(オス-メス)をご使用ください。
※ 2 芯電源線で中継する場合は、極性があります。
プラス / マイナスを正しく接続してください。

ー カメラフード・固定ネジ

※カメラレンズ部分に直射日光が当らないよう、 庇として取り付けます。
P8 を参照し位置を決めて取り付けてください。



カメラ映像をアナログ信号(TV などで映る信号)に変更して 出力します。画角確認等の際に使用します。 接続場所は(P5)を参照してください。

# 3. 各部名称 図1.全体 ① WINDOW カバー ② フード **5** 6 7 8 9 $(\mathbf{1})$ 2 34 ③ フード固定ネジ ④ フロントカバー 5 本体 ⑥ 回転方向固定ネジ ⑦ 垂直方向固定ネジ ⑧ 水平方向固定ネジ ⑨ マウントベース ⑩ 防水ゴムパッキン ① SDI用映像端子 12 RS-485端子 (10) ※通常は使用しません。 導通しないよう個々に絶縁テープで固定 してください。 13 電源端子 (12) 13 図2.面部 内部 14 赤外線LED(×36) / CDSセンサー (15) (16) **15** レンズ (14)-16 レンズフード (17) **⑦ ズーム調整ノブ** (18) 18 フォーカス調整ノブ 19 点検用映像プラグ接続端子 (20) 20 設定用ボタン ボタンは中心を押すことで「S」、各方向は · · · ボタンを倒して選択します。 S 「S」=決定 「U」=カーソルなどを上へ移動 [D] =カーソルなどを下へ移動 (19)

「L」=左へ移動、または設定値変更 「R」=右へ移動、または設定値変更

# 4. 設置操作

- 1)マウント・ベースのネジ穴用に合わせて付属のネジを使用し、 3ヶ所をしっかりと天井壁面等に固定してください。
  - (コンクリートに固定する場合は、市販のコンクリート用アンカーを使用願います)
- ※落下事故を防止するために、設置時及び経時的にぐらつき等固定部の強度に問題がある場合は、 すみやかに取付けをやり直してください。
- 2) 下記の図を参照し、カメラ方向を調整します。
- **| 方向:カメラ側の垂直確度を決めて、⑦のネジで調整、固定します。**
- II方向:カメラ側の回転角度を決めて、⑥のネジで調整、固定します。
  (壁面に取付ける場合は、180°カメラを回転させて固定します)
- Ⅲ方向:カメラの水平角度を決めて、⑧のネジで調整、固定します。

# 

3) 電源接続

カメラは DC12V/1A で正常に作動しますので、 付属のアダプター(DC12V/1A)でのご使用をお願いします。



4)カメラレンズ面のガラス保護シートをはがしてください。

※設置時にフロント・カバーを長時間開けたままにすると、内部の結露の原因に なります。設置する時にはフロントカバーの開ける時間をなるべく短くして ください。

- ※雨天においてフロントカバーを開けることは厳禁です。 ※内部の乾燥材は外さないでください。
- 1)フロントカバーを開けます。
- 2)取り外したフロント・カバーは水気やホコリがない安全な場所で 保管してください。

- スーム・ノブを反時計方向に回して緩めてください。
   (固い場合はドライバーを使用してください)
- 4) ズーム・ノブを左右に調整してズームを合わせます。(Wide ⇔ Tele)
- 5) ズーム・ノブを時計方向に回して固定します。
- 6)ズーム・ノブと同様の手順でフォーカス・ノブを回してフォーカスを合わせます。
- 7)フロントカバーを閉じます。



④フロント・カバーを閉じる時は⑩ゴムパッキンが外れないように適度な強さで閉めてください。

完全に密封されないと内部に湿気が 入り込み結露現象の原因になります。



-(3)

カメラを強い太陽熱から保護するためにフードをつけてください。

フードを固定する時には、強い風にもフードが外されないように ③フード固定ネジ(P4参照) でしっかり固定して下さい。

一般的にはフードを設置する場合、③フード固定ネジをネジ穴の真ん中で固定しますが、 映像の画角に合わせてフードを前後に調整して設置することができます。

※映像に影が入りこむ場合や、夜間赤外線がフードに反射して映像が全体的に白くなる場合は、 フードを後ろ下げて設置してください。

オプション 本製品をポールに取付ける場合に使用します。



# 5. 設定画面

○メニュー画面の設定は本体カバー内部の設定ボタン(P5参照)で操作します。
○設定ボタンの中央「S(中央)」を押すと、画面上にメニュー画面が表示されます。
○カーソルを移動させる場合はボタンを「U(上)」「D(下)」へ倒してください。
○設定項目や数値を変更する場合は、「L(左)」「R(右)」へ倒してください。
○項目を決定する場合は「S(中央)」を押します。
○「↓アイコン」のある項目は次画面があります。「決定ボタン」で次画面へ移動します。
○前画面に戻る場合は、カーソルを「戻る」へ移動させ「S(中央)」を押します。
○設定項目は、変更した時点で反映されます。画面を見ながら操作してください。

メニュー画面の構成は以下の通りです。設定を行う画面を選択し、設定項目を変更します。

1. レンズ - - - - - DC で使用してください。 メインメニュー DC 1.レンズ 2. 露出補正 - - - - - 設置環境によって明るさの設定を行いま 2.露出補正 ┛ す。 3.逆光補正 オフ 4.ホワイトバランス ATW 5.デイ&ナイト機能 EXT 3. 逆光補正 – – – – – 逆光時の補正について設定します。 6.NR 7.スペシャル機能 4. ホワイトバランス - 一映像の色味について調整します。 8.調整 9.リセット 5. デイ&ナイト機能 - 一昼夜の映像について設定します。 10.戻る ※実際のメインメニューに番号は振ってありません。 6.NR - - - - - - - - ノイズ除去設定を行います。 7. スペシャル機能 - - -カメラ名などの設定を行います。 8. 調整 - - - - - - 映像表示について設定します。 9. リセット - - - - - - カメラ設定を初期化します。 

# 5-1 レンズ

「DC モード」(初期値) での使用を推奨します。次画面で使用される環境を 1. モード「屋外 / 屋内」から選択 します。

※アイリスの設定を手動で行う場合には、「P-IRIS」を選択します。次画面でアイリスのモードやレベルをその場に合わせて設定します。

マニュアル、ビデオは使用しません。

#### 5-2 露出補正

設置した箇所の光量に応じて設定を変更する必要がある場合に選択します。光量が多い、少ない、によって 映像が見づらくなる場合はシャッター速度などを変更してください。

※設定は昼夜問わず補正を行いますので、実際の光量の状態で設定を行ってください。

シャッタースピード -- シャッター速度は初期値の「オート (1/60)」で使用してください。 「オート」で適応できない環境下の場合は、速度を「1/50000 ~× 30」で使用 してください。50Hz 地域での蛍光灯下使用時は、「FLK」を選択してください。 フリッカ(明滅)を軽減します。

AGC - - - - - ゲイン値を上げることで映像が明るくなりますが、ノイズも増えます。 実際の映像を確認して設定してください。「O ~ 15(初期値)」の間で設定します。

SENS-UP - - - - 低照度時の感度を上げ、映像を明るくします。ノイズやゴースト(動体の残像)が 強くなるため、使用時の映像を確認しながら設定してください。 初期値は「オフ」です。「オート」を選択して、次画面で数値を「2~30」の間で 設定できます。 ※シャッター速度を「オート、1/30」以外の設定では選択できません。

- 明るさ – – 映像の輝度を「O ~ 100」の間で設定します。 輝度を一定に調整するため、昼夜の明るさの違いにご注意ください。
- D-WDR ---- 逆光時の明暗差を少なくする補正を行います。「オン / オフ」から選択してください。

DEFOG ---- 曇り状態や逆光の強い状態での映像に対して補正を行います。

オフ:変更不要の場合は、このまま使用します。

- オン: 1.POS/SIZE・・・ 色の枠が表示され、位置や大きさを設定します。 (設定した場合、枠の内側が機能します。)
  - 2.GRADATION・・・ 画面のコントラストと透明度の切り替えを
    - 「オフ/低/中/高」より選択します。
  - 3. 初期設定・・・DEFOGの全ての設定を初期値に戻します。
- 戻る前画面に戻ります。

#### 5-3 逆光補正

逆光の強い環境下の場合に補正を行います。逆光状態での設定を推奨します。

初期値では「オフ」になっています。

WDR - - - - - 逆光時の明部(背景)と暗部(手前などの黒潰れ)の明暗差を補正しどちらも見える ように補正します。次画面では「ゲイン(低 / 中 / 高)」=補正の強さ と、「WDR OFFSET (0 ~ 60)」=明暗の差の数値を調整します。実際の映像を見ながら設定 してください。

BLC - - - - - - 逆光時に手前の暗部の映像を見やすくするように全体の明るさを強めます。

次画面では、ゲイン(低 / 中 / 高)」=補正の強さ と、光源のエリアやサイズを 設定します。

※エリア設定

- ①「S」ボタンで設定画面を表示します。
- ②「POSITION」で光源の位置を枠内に収めます。次に「S」ボタンを押します。
- ③「SIZE」ではエリアの大きさを上下左右のボタンを使用して設定します。
- ④完了したら「戻る(選択中は点滅)」を選択するか、「再試行(POSITION に戻る)」 を選択してください。
- 前画面の「3.初期化」を選択することで、この設定のみ出荷時に戻します。

HSBLC - - - - - 逆光時の光源を黒く塗りつぶすことで見やすくします。

次画面ではエリアと塗りつぶしの強さを設定します。

- 1. 選択 =補正エリアを1-4の間で個々に設定します。
- 2. 表示 = 補正の表示を「オン / オフ」設定します。
- 3. レベル=塗りつぶしのサイズを「O (黒広い) ~ 20 (初期値) ~ 100 (黒狭い)」 の間で設定します。
- 4. モード=補正時を「終日 / 夜のみ」から選択できます。
- 5. ブラック = 塗りつぶし表示を「オン / オフ」選択します。 マスク
- 6. 初期設定= HSBLC 画面内の設定のみ初期化します。

# 5-4 ホワイトバランス

光の色味の変化について設定します。光の種類に応じて設定します。

ATW - - - - - - 初期値での使用を推奨します。光源(太陽など)による白色を基準とした色の変化が ある場合のみ、この設定を変更します。

AWC ⇒ SET- - - - 「S」ボタンを押した瞬間の色味を基準とします。光源が一定の環境下でのみ使用します。

屋外 / 屋内 – – – – 設置場所に応じて選択します。

マニュアル – – – – 屋内 / 屋外設定でも補正しきれない色味の場合に、「青」と「赤」の数値を調整します。 「0 ~ 50(初期値)~ 100」の間で設定します。実際の映像を見ながら数値を 変更してください。

AWB - - - - - ATW と同様の機能です。ATW での補正が合わない場合に選択してください。 ※基本的には ATW で使用してください。

# 5-5 デイ&ナイト機能

昼 / 夜のモード切替について設定します。初期値は EXT となっています。または「オート」を選択して ご使用願います。

EXT ---- N期値で使用してください。次画面ではスマート IR 機能を設定できます。

バースト=昼夜の切替時にバースト信号を発生します。「オン / オフ」選択します。
 I.IR SMART = IR の拡散機能をオン / オフ選択できますので、夜間赤外線照射時に設定してください。次画面で、反射の強い部分を設定します。
 「エリア選択」で「S」ボタンを押し、「POSITION」表示画面では、反射の強い部分のエリアを上下左右ボタンで選択します。「S」ボタンで次の「SIZE 設定」へ移動し、範囲のサイズを設定します。
 レベルは、「O(抑制弱い)~8(初期値)~15(抑制強い)」の間で設定します。

オートー - - - - 昼 / 夜の切替時間を調整する場合に選択します。

 DELAY = 昼 / 夜モードの切替り時間を「O(短い)~5(初期値)~60(長い)」 の間で設定します。

2.D → N(AGC =) 昼 / 夜モードの切替わり光量を「O(明るい)~100(暗い)」 の間で設定します。数値を下げることで

明るい状態から夜モードへ切り替えることができます。

3.N ➡ D (AGC =) 夜 / 昼モードの切替わり光量を「O (明るい) ~ 100 (暗い)」 の間で設定します。数値を下げることで 明るい状態から昼モードへ切り替えることができます。

カラー ---- 昼モード(カラー)の状態に固定します。赤外線は照射されます。

白黒 – – – – – 夜モード(白黒)の状態に固定します。赤外線は照射されます。また次画面では、「EXT」 と同じ選択画面を持っています。

#### 5-6 NR

低照度時のノイズを提言します。ノイズが気になる映像の時に設定します。昼夜共にノイズが気にならない 場合には使用しません。初期値は「オン」になっています。ノイズ補正が有効である場合、明るさが低減する 場合もあるので、次画面で「オン / オフ」の選択を行います。 2DNR – – – – – – 「オン / オフ」を選択します。

3DNR - - - - 「オン/オフ」を選択します。「オン」選択時には次画面で補正のレベルを設定できます。

SMART NR = 「オン / オフ」を選択できます。オンを選択した場合次画面で、
 感度の設定ができます。
 次画面では検知の敏感度を「O(低い)~100(高い)」の間で
 設定できます。
 レベル=補正レベルを「O(低い)~100(高い)」の間で設定します。
 START.AGC = DNR 機能の補正開始 AGC 値を「O(低い)~100(高い)」
 の間で設定します。
 END AGC = DNR 機能の補正終了 AGC 値を「O(低い)~100(高い)」
 の間で設定します。

#### 5-7 スペシャル機能

次画面で言語設定、カメラ名設定などを行います。

カメラタイトル - - - 個々のカメラ毎のカメラ名を表示させます。「オン」に選択し、次画面で文字の設定 を行います。「0 ~ 9、A ~ Z、記号」を、最大 15 文字選択できます。 →=カーソルを移動させます。 CLR =入力した文字を全て消します。 POS = 「S」ボタンで次画面へ移動し、上下左右の文字の位置を設定します。 END =入力を完了します

D-EFECT - - - - デジタル処理で映像加工して表示します。

1. フリーズ=「オン」を選択した瞬間の映像を静止画として表示します。

※「オフ」を選択しない限りメニューから出ても戻りません。

2. ミラー=画像を回転します。「オフ」が正位置です。

ミラー:垂直左右反転 V-FLIP:水平上下反転

回転:上下左右それぞれ反転した状態になります。

3. デジタルズーム:「オン」を選択し次画面で「× 1.0(初期値)~

- × 2.8(初期値)~× 62.0」の間で設定します。デジタル 処理のため、解像度は低くなります。 拡大する場所は「2.パンチルト」画面内で上下左右の設定
- を行います。
- 4.SMART D-ZOON:使用しません。
- 5.NEG.IMAGE:「オン/オフ」選択します。オフでご使用ください。
- 6.DIS:使用しません。

動き検知 -----動体を検知した際に画面に「動き検知」という文字を表示します。

- 文字表示のみのため、録画の入り切りなどには影響しません。
  - 必要に応じて設定を行ってください。
    - ※設定手順
      - 1. 検知させたい範囲を初期値の 1-4 から選択します。
      - 2. 表示の「オン / オフ」で検知の有効 / 無効を設定します。また ON の状態で 次画面へ移動し、エリアの位置とサイズを設定します。
      - ※エリア設定
        - ①「S」ボタンで設定画面を表示します。
        - ②「POSITION」でエリアの位置を枠内に収めます。次に「S」ボタンを押します。
        - ③「SIZE」ではエリアの大きさを上下左右のボタンを使用して設定します。
        - ④完了したら「戻る(選択中は点滅)」を選択するか、「再試行
      - (POSITION に戻る)」を選択してください。
      - 3. オン: 敏感度、モーションビュアー(検知時のモザイク状の状態表示)を設 定します。画面をみながら、感度を調整します。「O(低い)~6O(高い)」 から選択します。
      - 設定が終わったら、前画面を戻ります。初期設定ではこの設定内容のみ 初期化します。
- プライバシーマスク---撮影したくないエリアにマスクをかけます。色塗りつぶしやモザイクの表示が選択で きます。「オン / オフ」選択できます。
  - ※設定手順
    - 1. 検知させたい範囲を初期値の 1-8 から選択します。
    - 2. 表示方法を選択します。
      - オフ=マスク非表示(初期では全て表示)
      - COLOR = 色塗りつぶし。次画面でマスクのサイズを設定します。
      - MOSAIC =モザイク表示をします。
      - INV. =マスクをネガ表示します。
      - ※各画面では、マスクのサイズを設定できます。次画面で下記手順を 行い、マスクのサイズを変更してください。
        - ※マスクサイズ変更手順
          - ① S」ボタンで設定画面を表示します。
          - POSITION」で光源の位置を枠内に収めます。

次に「S」ボタンを押します。

- ③「SIZE」ではマスクのの大きさを上下左右のボタンを使用して 設定します。
   設定は、マスクを囲む4点のポイントを動かすことで大きさを 変更します。
   「S」ボタンでポイントを切り替え、上下左右に移動させます。
- ④完了したら「戻る(選択中は点滅)」を選択するか、「再試行 (POSITION に戻る)」を選択してください。

3. カラーでは色を 15 種類から選択できます。
 4.TRANS. では色の濃さを「O(透明)~3(100%)」に設定できます。

5. 設定が終わったら、前画面を戻ります。初期設定ではこの設定内容のみ 初期化します。

言語選択 - - - - - 「JPN」で使用してください。

欠陥画素補正 - - - 一欠陥画素(ドット落ち)が発生した際の補正について修正します。 ライブ欠陥画素補正=ライブ中の補正を「オン / オフ」選択します。次画面では

数値を「0~100」の間で設定します。

STATIC DPC =補正を実行します。「オン / オフ」選択し、「オン」の次画面では 各数値を設定します。

START:補正を実行します。「S」ボタンを2回押してください。

レベル:補正のレベルを「0(低い)~60(高い)

の間で設定します。

SENS-UP:低照度時の感度を「×2、4、6、8、10、15、

20、25、30」から選択します。

AGC: ゲイン値を「O~(初期値、低い)~8(高い)」の間で 設定します。

RS485 - - - - - 初期値で補正は「オン」になっていますので、そのままご使用ください。 ドット落ちが発生した際には、次画面で「スタート」選択し、「S」ボタンを2度押 すことで、補正が開始されます。設定画面に戻るまでしばらくお待ちください。

VERSION - - - - - RS485 信号によるカメラの制御を行います。メニュー設定のみ対応しているため、 必要である場合にのみ設定してください。また、設定はコントローラー側の 「ID/BAUDRATE」と数値を合わせてください。

現在のバージョン情報です。ご確認ください。

#### 5-8 調整

次画面で映像表示について設定します。

シャープネス----輪郭を強調します「0~8(初期値)~15」の間で設定します。

モニター – – – – 「LCD(液晶)」のまま使用してください。次画面ではモニター表示について 細かい設定があります。青みやゲインを設定できます。

レンズシェーディング-- 映像を立体的に見せるよう明暗を強調します。通常は使用しません。 補正

CVBS CROP - - - 使用しません。

VIDEO.OUT - - - - 出力方式を「NTSC/PAL」に選択します。「NTSC」で使用してください。

FOCUS ADJUST – – 現在のピントが合っているかどうかガイドを表示します。 「S」ボタンで移動、戻るを操作します。



※ピントを調整していくと、「PEAK」の数値に近づいていきます。
同時に赤ゲージが青ゲージの上端へ近づきます。この状態がピントが合った
状態となるので、最も近い状態でピントを固定してください。

#### 5-9 リセット

カメラの設定値を初期化します。「S」ボタンで実行します。 ※英語に戻ります。(P14 言語選択参照)

# 5-10 戻る

設定を終了し、設定画面を閉じます。